

No title available

Publication number: JP6039702 (U)

Publication date: 1994-05-27

Inventor(s): OOI NOBUYUKI [JP]

Applicant(s): PANASONIC CO [JP]

Classification:

- international: B65B19/34; B65B5/06; B65B19/00; B65B5/06; (IPC1-7): B65B19/34; B65B5/06

- European:

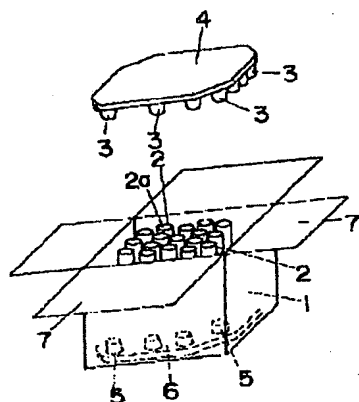
Application number: JP19920074700U 19921027

Priority number(s): JP19920074700U 19921027

Abstract not available for JP 6039702 (U)

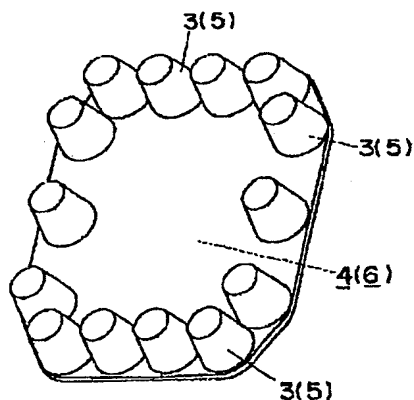
Data supplied from the *espacenet* database — Worldwide

【図1】

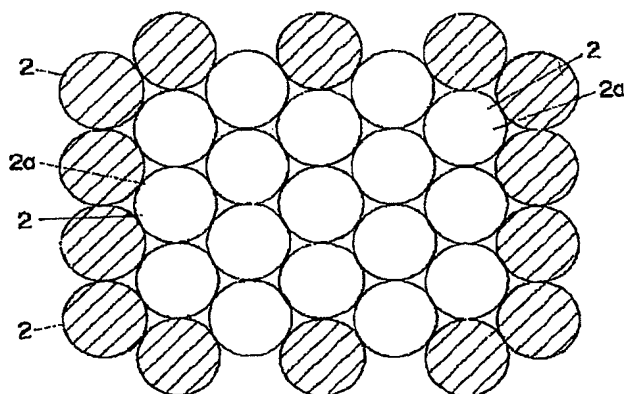


- 1 梱包ケース
- 2 パイプ
- 3 上挿入部
- 4 上支持体
- 5 下挿入部
- 6 下支持体

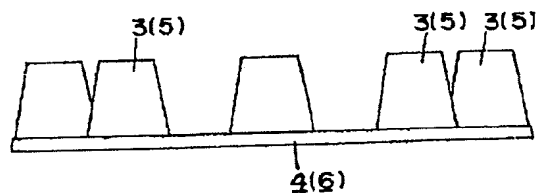
【図3】



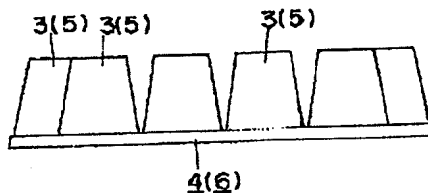
【図2】



【図4】



【図5】



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-39702

(43)公開日 平成 6 年(1994) 5 月27日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 5 B 5/06
19/34

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

7130-3E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 2 頁)

(21)出願番号 実願平4-74700

(22)出願日 平成 4 年(1992)10月27日

(71)出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72)考案者 大井 信行

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

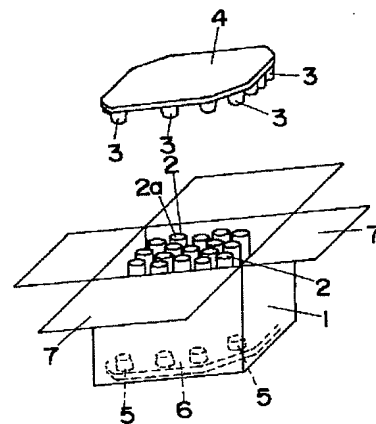
(74)代理人 弁理士 石田 長七 (外 2 名)

(54)【考案の名称】 梱包構造

(57)【要約】

【目的】パイプを安定した状態で収納でき、衝撃による端部の破損も防止できる梱包構造を提供することにある。

【構成】梱包ケース 1 に上下両端が開口した複数のパイプ 2 を収納した梱包構造において、梱包ケース 1 の上部に外周に複数の上挿入部 3 が立設された上支持体 4 を配置して上挿入部 3 をパイプ 2 の上端開口 2 a に挿入すると共に梱包ケース 1 の底部に外周に複数の下挿入部 5 が立設された下支持体 6 を配置して下挿入部 5 をパイプ 2 の下端開口 2 b に挿入した。



- 1 梱包ケース
- 2 パイプ
- 3 上挿入部
- 4 上支持体
- 5 下挿入部
- 6 下支持体

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 梱包ケースに上下両端が開口した複数のパイプを収納した梱包構造において、梱包ケースの上部に外周に複数の上挿入部が立設された上支持体を配置して上挿入部をパイプの上端開口に挿入すると共に梱包ケースの底部に外周に複数の下挿入部が立設された下支持体を配置して下挿入部をパイプの下端開口に挿入して成る梱包構造。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例を示す分解斜視図である。

【図2】 同上におけるパイプの梱包状態を説明する概略

図である。

【図3】 同上における上下支持体を示す斜視図である。

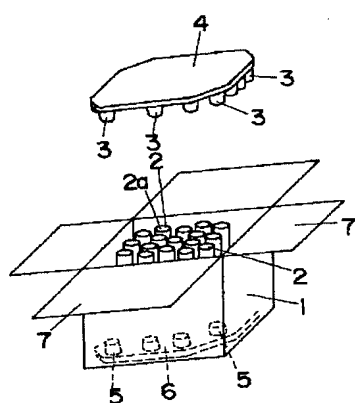
【図4】 同上の上下支持体を示す側面図である。

【図5】 同上の上下支持体を示す側面図である。

【符号の説明】

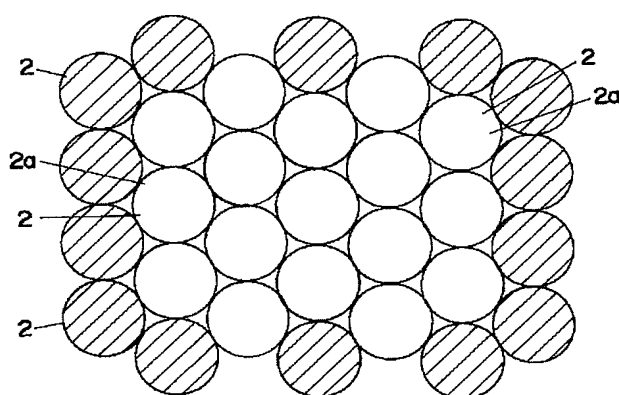
- 1 梱包ケース
- 2 パイプ
- 3 上挿入部
- 4 上支持体
- 5 下挿入部
- 6 下支持体

【図1】

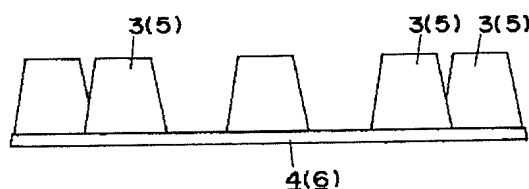


- 1 梱包ケース
- 2 パイプ
- 3 上挿入部
- 4 上支持体
- 5 下挿入部
- 6 下支持体

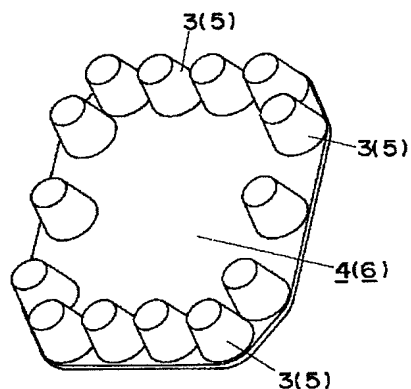
【図2】



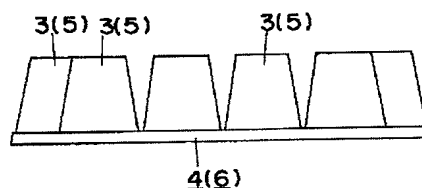
【図4】



【図3】



【図5】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、梱包ケースに上下両端が開口した複数のパイプを収納した梱包構造に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来にあつては、パイプは梱包ケースに複数本束ねられて収納されている。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

このため、パイプが収納されている梱包ケースを積載して運搬・保管した場合には、パイプのくずれとか衝撃によりパイプの端部が破損してしまっていた。

本考案は上記問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、パイプを安定した状態で収納でき、衝撃による端部の破損も防止できる梱包構造を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】

本考案は、梱包ケース1に上下両端が開口した複数のパイプ2を収納した梱包構造において、梱包ケース1の上部に外周に複数の上挿入部3が立設された上支持体4を配置して上挿入部3をパイプ2の上端開口2aに挿入すると共に梱包ケース1の底部に外周に複数の下挿入部5が立設された下支持体6を配置して下挿入部5をパイプ2の下端開口2bに挿入して成るものであり、この構成により上記課題が解決されたものである。

【0005】

【作用】

収納された複数のパイプ2の外周部に位置するパイプ2の上下両端開口2a、2bにそれぞれ上下支持体4、6の上下挿入部3、5を挿入することにより、外周部に位置するパイプ2を支持して全体のパイプ2を確実に支持できると共に端部の保護もできるものである。

【0006】

【実施例】

梱包ケース1は段ボール製で直方体状であり、上方が開口している。この梱包ケース1内に複数のパイプ2が収納されている。上支持体4は矩形状であり、下面の外周には梱包する複数のパイプ2の外周部に位置するパイプ2の数と同一の数の円錐台形状の上挿入部3が立設されている。下支持体5は上支持体4と同一の形状であり、上面に下挿入部6が立設されている。上下挿入部3、6の最大径はパイプ2の内径よりも僅かに小さくなっている。

【0007】

而して、梱包ケース1の底部に下支持体6が配置され、次いで複数本のパイプ2が収納されて、外周部に位置するパイプ2（斜線で示す）の下端開口2bに下挿入部6が挿入される。この後、上支持体4が配置されて、上挿入部3が外周部に位置するパイプ2の上端開口2aに挿入される。次いで、梱包ケース1の蓋体7が閉じられて梱包される。

【0008】

【考案の効果】

本考案は、梱包ケースに上下両端が開口した複数のパイプを収納した梱包構造において、梱包ケースの上部に外周に複数の上挿入部が立設された上支持体を配置して上挿入部をパイプの上端開口に挿入すると共に梱包ケースの底部に外周に複数の下挿入部が立設された下支持体を配置して下挿入部をパイプの下端開口に挿入しているので、外周部に位置するパイプを支持して全体のパイプを確実に支持してパイプを安定した状態で収納でき、運搬・保管した場合には、パイプのくずれとか衝撃によりパイプの端部が破損することがないものである。